

報告事項1：平成27年度事業報告の件

平成27年度事業報告

要 旨

事業年度活動テーマ『 Eyes to the Future 』～ 未来に夢を ～

公益社団法人として4事業年度目の活動を終えた今、活動テーマを社会貢献活動の原点に立つことを目的とし、助け愛の精神を受け継ぎ、ハートフルな体温が直に伝えられるような“愛”を込めた活動を全国津々浦々へ浸透させていこうというねらいをもって進めてきた。

特記すべきは、本年度会費から「ハートフルファンデーション」を軌道に乗せ、安定的な募金が積み上がるスキーム構築のため、会員お一人年間500円の募金を頂くことにし、会費額を8,000円から8,900円に変更しました。これにより約17,500,000円の基礎原資が積み立てられました。次年度以降も同様に積立てられることになり、万一の大災害時に「JAIFAらしい支援」が会員全員の総力をもって起動できる体制が構築された。これによってJAIFAの社会貢献活動が皆様のお力でさらに充実されることを期待していただきたい。

これからも、生命保険の持つ倫理性と公益性を普及する任務を担う営業職員という職業に、強い情熱を持ち、営業職員としての責任を自覚し、さらに輝いていくようにありたいと考えている。

東日本大震災から5年の月日が経つものの、まだまだ復興には至っていない。引き続き「JAIFAハートフルファンデーション」の支援活動では、特に、未来ある子ども達の笑顔のために、これからも感動のメッセージを頂けるような活動を展開し続けたいと考えている。そのためには、今後も、ファンデーションを大きく育てて、公益社団法人としてふさわしい社会貢献活動の強化を図っていくことが私たちの大切な使命であり、全国津々浦々に拡大しつつある約3万5千名という組織力を活かし、他に類を見ない「ファンデーション」を目指していく。

本事業年度では、公益社団法人に規定されている立入検査が認定後初めて実施された。検査での指導は、公益目的事業1(セミナー事業関係)で、不特定多数(一般の方)へ向けた事業を行う事で公益認定されていることから、この事業の実施を順守していくことの指導があった。これを受け、内閣府検査並びに公益事業の今後について周知すべく、ブロック長会議を開催し、次の「3つの施策」を必ず達成することを確認した。

1. 公益事業費は、70%以上となる様に運営すること(70%ルール)
2. セミナーは、企画段階で決定申請書を提出して、公益事業判定を受けること(企画決定申請ルール)
3. 自己負担費用項目とJAIFA負担費用項目の区分を厳守すること。(費用区分ルール)

また、地方協会へ資料を配布しつつ、ブロック長からのフォローとともに、今回の検査結果を通達している。平成28年度を目前とする中で、来る定時総会や全国会長会議、ブロック会議などを通じて、公益の原点に立ち返って、事業に臨むことを確認していく方針である。

このように、生命保険の使命と築いてきた伝統をもとに、平成27年度は公益社団法人として下記事業を中心として行ってきたことを報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命(教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、

国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施

(教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

全国セミナーは、各地の社会貢献活動を発表する機会でもある。年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るという、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している(2015年度開催「金沢大会」：全体で5,000名参加)。

全国セミナーでは、加入者の体験談なども交え、来場者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動(リレー・フォー・ライフ、あしながPウォーク10)、ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

2015年度セミナーでは、統一テーマを『Interdependence～助け愛～』とし、東日本大震災支援の継続や公益事業活動の拡大に向けた取り組みにより、今後もJAIFAとしてできる支援策を継続していくこととした。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて

(教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

JAIFAは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決するこ

と。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人的支援）

公益財団法人日本対がん協会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン	全国各地の主催行事へ参加
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本		全国各地の主催行事へ参加
あしなが育英会	あしながPウォーク10	全国各地の主催行事へ参加

②J A I F A年次統一セミナーでの公益団体紹介広報ブースの設置（無料出展にて推奨）

一般財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン北陸支部（難病の子どもたちの夢をかなえる活動）
ピンクリボン加賀（乳がん早期発見・早期診断・早期治療を伝える活動）
公益財団法人 生命保険文化センター（生命保険に関する情報提供）

③広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」5年継続
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 14年継続

■東日本大震災被災者（児童）への支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

震災発生後からJ A I F Aとして最大限の活動をするため、会員からの支援金で、被災地に必要な物資を届ける活動や被災地にある児童養護施設への支援活動を行ってきた。

「ハートフルファンデーション」は、①「年度ごとの期限を定めた支援」として、今年度は、小児がんなどの難病と闘っている子どもとその家族を支援するため、「病院近くの我が家」として日本で初めて建設された「パンダハウス」増築に伴う設備に総額4,996,922円(送金手数料込)の施設備品支援を決定しました。

「年度ごとの期限を定めた支援」経過

平成24年度 岩手県一関の児童養護施設「藤の園」への『バイオマスボイラー』を寄贈
平成25年度 宮城県の閑上地区に『トレーラーハウス』を寄贈
平成26年度 宮城県「子どもの村東北」へ『施設備品』を寄贈
平成27年度 福島県「パンダハウス」増築に伴う『施設備品』を寄贈

振り返ってみれば、「ハートフルファンデーション」は、すでにこれだけの実績を積み上げ、“継続は力”であること、会員一人ひとりのご理解の賜と、改めて心から御礼を申し上げる次第です。

特に、本年事業年度は、両親を亡くした孤児に“夢”を与えたい。「子どもの村東北」との出会いで、孤児達の未来に夢を与えようと懸命な活動をされる「子どもの村東北」に対して、J A I F Aも一緒になって子ども達の“夢”の実現に少しでも貢献し、その思いが全国的な活動に拡散し、大きな輪となって大きな支援に結びついていくようお願い「子ども達の“夢”を支援しよう」と、活動テーマを『Eyes to the Future ～未来に夢を～』としてきました。東日本大震災の残した爪あとは、5年の歳月を経た今もまだ癒えず、被災者の精神的・経済的基盤の再建はきわめて困難な状況にあります。日々の生活基盤の充実の一方で、明るい未来の実現に少しでも寄与したい、それがJ A I F Aの願いです。

もう一方の車輪である、②「突発的災害に備えた支援」としては、27年度は9月に発生した鬼怒川の豪雨災害支援につき、茨城県協会を通じて、茨城県常総市水害支援対策センター(市の施設)からの

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ててほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく予定である。

「かけがえのない命とその命を育んでいる地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の3点について現在実施中であり、平成28年度へ継続している。

①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及とともに使わなくなったテレフォンカードを手元に持っている人は少なくない。これを収集し、ボランティア活動へ活かすように進めている。

②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体に送り役立てて頂く予定。先の東日本大震災でも役立てられている。

③タオルの回収

自宅や会社にて未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。

上記は、共に組織力を活かして成果を上げられるように、来る平成28年5月27日の福島年次統一セミナー会場への持参受付分まで活動していく。会員のみならず広く支援を呼び掛けていく。

このほか、ペットボトルキャップ、書籍等の回収を行い、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

J A I F A提携の海外協会であるNA I F A（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）やAPF i n S A（アジア太平洋生命保険評議会）加盟各国との交流をはかり、生命保険に関する研究を重ねると共に、その視点をアジア各国にも向けて日本がリーダー国として手本となる活動を展開することを目指してきた。特にアジア圏では、今後J A I F Aが他国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる組織作りになるよう展開する。

今事業年度では、APF i n S A会長会議がタイ・チェンマイで開催された。アジア圏内では、日本を見習い、日本に追いつき追い越そうとするアジアの人々が目標としたいというような「J A I F Aとしてできること」の実践例をもって国際貢献にもJ A I F Aの公益事業を反映しつつ拡大させていく。

●2015年度の国際会議等の参加

9月 NA I F A年次大会 アメリカ・ニューオリンズ

1月 APF i n S A会長会議（加盟国代表者会議） タイ・チェンマイ

●今後の国際会議等の予定

2016年 9月 NA I F Aラスベガス年次大会

2017年 5月 APL I Cマレーシア大会

2019年 未定 APL I C大会

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し、会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

日本経済や生命保険業界の環境が厳しい中で、平成27年度をもって11年連続で会員増強を実現していることは、J A I F Aの公益活動普及への成果といえる。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%

11年連続増加

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員とし、事業に賛同して下さる個人・団体を賛助会員としている。公益社団法人への移行とともに、J A I F Aの活動に共鳴し、共に活動し、支援して下さる方の募集を平成25年事業年度から開始しており、J A I F A会員を通じて賛同者を募っていく。

生保業界の環境も変化してきている中、代理店に所属する営業職員にJ A I F Aの事業活動を広報し、入会促進をしている。生命保険会社に所属する会社に比し、代理店は来店窓口型も多く一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生活できるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にしていたくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、J A I F Aの公益活動を内外にPRするため「ホームページの活用」や「Facebook」、「J A I F Aニュース」を作成していく。

●2015年4月号

- ・特集 コミュニケーション力アップ!もう一度会いたいと思われる人になる
- ・日常生活にプラス!生活習慣病予防にも かんたんダイエット「腹筋トレーニングでシェイプアップ」
- ・第1回 ゼロから学ぶ税金講座 所得と収入の違い

- ・第148回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「リビング・ニーズ」
- ・ライフステージに応じたライフプランを考えるWEBシミュレーションツール e-ライフプランニングのご案内
- ・第25回 年金Q&A 16年ぶりに年金額は増えたが・・・
- ・第37回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【印象に残る表現力】～テクニックより「向き合う力」～
- ・第138回 お客様からの感謝の声 生命保険をきっかけに波乱に満ちた人生にずっと寄り添ってくれる信頼のできる人に出会えました。
- ・第49回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ マンション投資やアパート経営の注意点！
- ・特別コラム 監督指針について～営業職員がしておくべきこと～
- 2015年5月号
- ・特集 残った野菜もおいしく食べられる！うまみ&栄養アップ！時短で光熱費の節約ができる！干し野菜のすすめ
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「たるんだお尻をヒップアップトレーニング」
- ・第2回 ゼロから学ぶ税金講座貯蓄性の保険と所得税
- ・第149回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「祖父のカバン」
- ・第26回 年金Q&A 働きに出ると遺族年金は減額？
- ・第38回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ひとり時間のすすめ】～心の声に耳を澄ませる時間～
- ・第139回 お客様からの感謝の声生命保険加入の3ヶ月後子宮体がんを発症し、無事に完治 生命保険の大切さ、身をもって知りました
- ・第50回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ住宅ローンの返済期間を短くするメリットは？
- ・第59回 心のかけはし お客様のために 300%の知識と情熱を注ぎます！法人営業スペシャリストの仕事術とは！
- 2015年6月号
- ・特集 ジメジメ梅雨の季節 お金をかけず環境にやさしい知恵しっかりカビ対策
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「有酸素運動で脂肪燃焼」
- ・第3回 ゼロから学ぶ税金講座 総合課税と累進税率
- ・第150回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～父からのメッセージ
- ・第27回 年金Q&A 厚生年金との一元化で共済は？
- ・第39回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【「怒り」の感情は悪者じゃない】～気持ちをしっかり説明しよう～
- ・第140回 お客様からの感謝の声 視力に自信のあった私が加齢黄斑変性で2年にわたる闘病。給付金だけでなく細やかな対応に助けられました
- ・第51回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 利用者にとって「いい商品」ほど広告には載ってない？
- ・第60回 心のかけはし背中を押してくれたお客様からの言葉―「保険は人」の想いを胸に、夢の実現をお手伝い！
- 2015年7月号
- ・レポート 2015JAIFA年次大会 in 金沢 Interdependence「あんやと」に出逢いませんか

JAIFA 第 45 回定時総会報告 平成 27 年度 JAIFA 新理事・監事・委員会名簿

- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「気になる下腹シェイプアップ」
- ・第 4 回 ゼロから学ぶ税金 講座保険金と税金
- ・第 151 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～ぶきょうな祖父の贈り物
- ・第 28 回 年金 Q&A 夫死亡後の手続きは
- ・第 40 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【人間関係の構築方法】～「問題がない」場面こそ大事にしよう～
- ・第 52 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ債権の税金が来年から大幅に変わる！？
- ・第 61 回 心のかげはしコンビニ業界のエースが生保営業に転職。家族の想いを胸に、部下を、お客様を大切にしていきます！
- ・2015NAIFA ニューオリンズ年次大会参加登録を開始します！！

●2015年8月号

- ・特集熱中症を予防しよう！
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「トレーニングで二の腕スッキリ」
- ・第 5 回 ゼロから学ぶ税金講座 死亡保険金への課税
- ・第 152 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～母の履歴書
- ・第 29 回 年金 Q&A 大学生の子どもの保険料は払うべきか
- ・第 41 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【あらためて「待遇」を見直そう】～体温を感じるやり取りを大切に～
- ・第 141 回 お客様からの感謝の声前立腺がんの早期発見後、生命保険のおかげで先進医療が受けられ完治第 2 の人生を謳歌しています
- ・第 53 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラフラット 35 に新商品登場！フラット 35（リフォーム一体型）とは
- ・第 62 回 心のかげはし 15 分間の企業訪問を有効に使う！プレイングマネージャーの時間管理術に迫ります！

●2015年9月号

- ・特集 重大疾患につながる危険な病気！歯を健康にする“歯周病”予防法
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「脚やせ下半身シェイプアップ」
- ・第 6 回 ゼロから学ぶ税金講座死亡保険金への非課税
- ・第 153 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～保険の大切さ
- ・第 30 回 年金 Q&A 年金支給開始の繰下げ
- ・第 42 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自己主張するためのコツ】～タイミングと気持ちを大事にしよう～
- ・第 142 回 お客様からの感謝の声突然の脳出血でどん底に家族の支えと生命保険のおかげで新しい自分に生まれ変わった
- ・第 54 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ毎月分配型ファンドは有利じゃない？
- ・第 63 回 心のかげはし迷いを晴らし、ライフプランナー人生を決定づけた先輩の言葉と 2 つの転機とは！

●2015年10月号

- ・特集 おいしい食事を食べたい！運動は苦手…お酒を飲みたい！わがまをあきらめない健康法
- ・「生命保険の月」に寄せて
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「ストレッチで代謝アップ」
- ・第 7 回 ゼロから学ぶ税金講座非課税金額の不適用

- ・第 154 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～生命保険という、ひとつの証書
- ・第 31 回 年金 Q&A 職域加算が廃止されて…
- ・第 43 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【大切な褒めポイント】～努力を言葉に変えよう～
- ・第 143 回 お客様からの感謝の声家族のために働き続けた夫が肺がんで旅立った生命保険のおかげで周りに迷惑をかけずに会社をきれいに清算できました
- ・第 55 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ宝くじの一等は、買っても当たらない？
- ・第 64 回 心のかけはし笑顔が切り開いた、新しい人生。お客様の幸せのため、真心込めて活動します！

●2015年11月号

- ・特集 人生が好転する元気な自分をつくる心のスイッチ
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「姿勢をキレイに背中エクササイズ」
- ・第 8 回 ゼロから学ぶ税金講座税金ゼロでも申告必要！？
- ・第 155 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「健康が何より」
- ・第 32 回 年金 Q&A 加給年金加算の要件
- ・第 44 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【よき相談相手の条件】～自由に語れる環境を作ろう～
- ・第 144 回 お客様からの感謝の声幼子を残して旅立った 34 歳の夫納骨前に被災した東日本大震災暖かい人間関係と生命保険のおかげで生きています
- ・第 56 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ年一回はライフイベント表やバランスシートを作りましょう
- ・第 65 回 心のかけはし自身の辛い経験をバネに、大活躍！天職として活動し続けます！

●2015年12月号

- ・特集 人生の棚おろし 元気な今からスタート終活のすすめ～豊かな将来のために～
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「お手軽顔やせテクニック」
- ・第 9 回 ゼロから学ぶ税金講座給与天引きの所得税の意味
- ・第 156 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「祖父からの贈り物～思いやりのバトン～」
- ・第 33 回 年金 Q&A 男女による支給開始年齢の差
- ・第 45 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【断り上手の秘訣】曖昧な返事はNGです
- ・第 57 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ平成二七年度版：株式等に係る税金について
- ・第 145 回 お客様からの感謝の声新婚 2 年目、子宮頸がんで旅立った妻生命保険のおかげで最期まで支えられました悲しみは癒えないけれど妻の想いに応えます
- ・2015NAIFA ニューオリンズ年次大会研修及び米国生命保険会社訪問に参加して

●2016年1月号

- ・特集 新春対談ゴルゴ松本（お笑い芸人）木原みつ代（JAIFA 理事長）
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「便秘解消！お腹ストレッチ」
- ・第 157 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「父からもらったラブレター」
- ・第 53 回 中学生作文コンクール入賞者表彰式
- ・生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・第 10 回 ゼロから学ぶ税金講座確定申告は必要？

- ・第 34 回 年金 Q&A 老齢基礎年金を「満額」にするには
- ・第 46 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【3 タイプのコミュニケーションスタイル】～自分らしい1年をおくりましょう～
- ・第 146 回 お客様からの感謝の声海外転勤前に見直した生命保険のおかげで夫の前立腺がん治療を心配なくできました当たり前の幸せを家族でかみしめています
- ・第 58 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ株価や為替は、どんな理由でどんなふう
に動くの？
- ・第 66 回 心のかげはし長いスランプを経て、大きな決断からの復活自分を信じてやり遂げます！
- ・第 8 回 全国会長会議が開催されました

●2016年2月号

- ・特集 一生冷えない！太らない！隠れ冷え性も増加中！ポカポカ体質を作る
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「下半身をキレイにする美脚運動」
- ・第 11 回 ゼロから学ぶ税金講座還付を受けるために
- ・第 158 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「リュックいっぱい愛情」
- ・第 35 回 年金 Q&A 給料が下がると年金額は減る？
- ・第 47 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【こころの距離の縮め方】～相手お名前を読
んでみよう～
- ・第 147 回 お客様からの感謝の声 19 歳で次男が急性骨髄性白血病に長男からの骨髄移植で大学に復
学できました生命保険は次男の将来もずっと支えてくれます
- ・第 59 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ金利はどんな理由でどんなふう
に動くの
か
- ・第 67 回 心のかげはし保険商品に人の温もりを乗せ、ご家族をお守りする気持ちを大事にします！

●2016年3月号

- ・特集 目の筋肉をゆるめて近視・老眼・目の不調を改善！視力開腹健康法
- ・日常生活にプラス！生活習慣病予防にもかんたんダイエット「体の深部に効くコアトレーニング」
- ・第 12 回 ゼロから学ぶ税金講座医療費が 10 万円を超えたら
- ・第 159 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「より多くの命を救うため
に」
- ・第 36 回 年金 Q&A 厚生年金と共済年金の期間通算
- ・第 48 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分のハートに聞きましょう】～大切な
は感じること～
- ・第 148 回 お客様からの感謝の声健康な夫を襲った末期の肺がん闘病 10 ヶ月を駆け抜け天国に旅立
った夫の分まで家族を守っていきます
- ・第 60 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ再確認！NISA のメリット・デメリット
- ・第 68 回 心のかげはし悲しい別れを経て、スランプを脱却ー。お客さまに育てていただき、今があ
ります！

1. 教育啓発・情報提供活動事業 （公益目的事業 1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただくことにおいている。

全国9ブロック54協会がさまざまな分野から講師をお招きして128回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①上杉 春雄（神経内科医 山の上病院院長）
『芸術から見る神経の働き、神経内科ってなに』
- ②佐藤 俊彦（宇都宮セントラルクリニック代表）
『テロメスキャンでステージ0のガンを見つけて治す』
- ③浜口 玲央（東京健康クリニック院長）
『がんに負けないからだのつくりかた』
- ④木村 貴文（京都大学 iPS 細胞研究所 主任研究員）
『iPS 細胞研究から知る最先端医療』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①腰塚 勇人（命の授業講演家）
『命の授業 いまの幸せに気付くことから夢は広がる』
- ②鳥越 俊太郎（ニュースの職人キャスター）
『スーパーポジティブに生きる』
- ③ゴルゴ松本（お笑い芸人）
『命の授業』
- ④林 覚乗（南蔵院第23世住職）
『心ゆたかに生きる』
- ⑤金子 稚子（ライフ・ターミナルネットワーク代表）
『死ぬことから考える、生き方』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①大坂 ともお（フリーアナウンサー）
『スタジアムDJが見たアスリートの魂』
- ②岩崎 由純（日本コアコンディショニング協会 会長）
『元気・活気・勇気を与える魔法の言葉』
- ③都並 敏史（元サッカー日本代表）
『ぶれないチカラ』
- ④尾木 直樹（教育評論家）
『未来に向かって』
- ⑤林 修（東進ハイスクール現代文講師）
『覚悟をもって生きる』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①清水 寅 (株ねぎびとカンパニー代表)
『夢をかなえる力』
- ②杉村 太蔵 (株杉村商事代表取締役)
『プライドを捨てた男の人生訓』
- ③市川 量一 (社会保険労務士)
『これからどうなる私たちの年金』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①今井洋子 (社会保険労務士)
『今さら聞けないマイナンバー制度』
- ②深沢 敬二 (元国税調査官)
『税に関するよもやま話』
- ③住江 悠 (不動産鑑定士)
『知らないと損をする、相続税還付のしくみ』
- ④井上 得四郎 (税理士)
『相続税改正』
- ⑤王 一郎 (ラッキーピエログループ 代表)
『パワーブランド戦略』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

平成27年10月 2日 (金) 「函館国際ホテル」
王 一郎 『パワーブランド戦略』

<関東甲信越ブロック>

平成27年10月16日 (金) 「新潟県新発田市」
三遊亭萬窓 『天国からのラブレター』
鬼塚 眞子 『生命保険販売に役立つ! スキルアップ』

<四国ブロック>

平成27年10月14日 (水) 「鳴門市文化会館」
鈴木 綾子 『こころ鴉色に染めて』
大野 寿子 『夢に向かって一緒に走ろう~夢は力です!いのちの輝きをみたいから』
竹内 昌彦 『私の歩んだ道 見えないから見えたもの』

2. ボランティアおよびエコ活動事業 (公益目的事業2)

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム

号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「プレゼント」では、裏表紙に愛のドリーム号贈呈先および児童福祉施設からの感謝の声を掲載し活動報告を続けている。平成28年3月31日現在までの総累計金額は、4億4,842万5,625円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本（SO））

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供している。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

☆遺児学生のために（あしなが育英会 あしながPウォーク10）

全国47都道府県（約60コース）で開催しているボランティアウォークは、約10キロの道のりを歩きながら日本と世界の遺児が抱える問題について考えています。東日本大震災による遺児のケア施設「東北レインボーハウス」の建設も予定されています。

☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、ガンに立ち向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、ガンに向う勇気や生きる感動を共有します。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した津波や大地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、JAIFAは緊急支援募金活動を行ってきた。援助を必要とするような大災害が発生しないことが一番ではあるが、万一、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・平成27年 4月23日(木)24日(金)、第45回MDR T日本会大会に、木原理事長が出席した。
- ・平成27年 6月 5日(金)第44回TLC(生保協会認定FP)会総会に、木原理事長が出席した。
- ・平成27年 7月23日(木)アンダーライティング学院運営委員会に木原理事長が出席した。
- ・平成27年 8月 4日(火)アンダーライティング学院41期生学位授与式に木原理事長が出席した。
- ・平成27年 9月 1日(火)アンダーライティング学院42期生入学式に木原理事長が出席した。
- ・平成27年10月 7日(水)生命保険修士会第41回定時総会に、金井理事が出席した。
- ・平成27年11月13日(金)第5回日本損害保険代理業協会コンベンションに木原理事長が出席した。
- ・平成28年 1月 4日(月)一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に木原理事長が出席した。
- ・平成28年 1月27日(水)アンダーライティング学院運営委員会に木原理事長が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

米国NAIFA年次大会が、2015年10月3日（土）～5日（月）にニューオーリンズ「コンベンションセンター」ホールを会場にして開催された。

講演、分科会、ロビー活動の報告、役員選挙などを行う大会、それが会員4万人を有するNAIFAの年次大会である。NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

アメリカの国会では、生命保険業界に関してだけでも1,612法案が提出されている。保険規制は州政府が中心であるが、これまでに解約返戻金に税金をかけることを阻止してきている。しかし、オバマケアは赤字となり、関連するCoopも破産した。労働省は、「生保はお客さまからいよいよにお金をとっている」という見方をしており、401Kのアドバイスをもらうなら、お客さまと契約を結ばなければならないという規制をかけようとしている。NAIFAは、様々な問題、特にお客さまへの想いを地方議員訴え続けることはもちろん、お客さまにも不利になることを知らせ、お客さま自身からも陳情して頂くようにしているとのことでした。

日本の生命保険業界も大きく変わってきました。アメリカも様々な問題点を抱えていることもわかりました。しかし、日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客さまのために学び、そして我々がお客さまに長きにわたり接し続けることが大切な事には国境がありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深いことである。

■APFINS A会長会議

APFINS A第13回会長会議が、2016年1月16日（日）～17日（月）にタイ・チェンマイ ホリディインホテルを会場にして開催された。会議では、APFINS A役員からの報告、FChFP報告、第16回APLICマレーシア大会（2017年5月開催）などが協議された。

APFINS Aの設立目的の一つには「アジア太平洋地域での生命保険販売専門家の間での職業上の連帯を深める」ことがあるが、まさにこの会議での成果は、国の垣根を越えて相互の理解を深め、各国の生命保険をよりよい方向へ導くことのできるよう認識を新たにするとともに、各国の連携と結束を強くした有意義な会議となった。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

平成28年度税制改正に関する要望項目について

平成27年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月18日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎持続可能な社会保障制度の確立に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに応じて、現行制度を拡充すること―所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円

および3. 5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度）および確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること
- 確定給付企業年金、厚生年金基金における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の脱退一時金について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円+未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

- ・平成27年 5月25日（月）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に五井理事が出席した。
- ・平成27年 5月27日（水）番町政策研究所「2015 躍進の集い」に田久保理事が出席した。
- ・平成27年 9月17日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語るに田久保理事が出席した。
- ・平成27年11月 5日（木）国土強靱化総合調査会 100 回記念会に田久保理事と糸井理事と事務局が出席した。
- ・平成27年11月25日（水）衆議院議員高村正彦君の衆議院議員在職 35 年を祝う会に木原理事長と事務局が出席した。
- ・平成27年11月29日（日）自由民主党立党六十年記念式典に木原理事長が出席した。
- ・平成27年12月10日（木）衆議院議員神田憲次議員が来局し、木原理事長と並木専務が面談した。
- ・平成27年12月16日（水）衆議院議員岸田文雄と国政を語るに山本理事と事務局が出席した。
- ・平成27年12月17日（木）衆議院議員竹村展英議員が来局し、木原理事長と並木専務が面談した。
- ・平成28年 2月18日（木）自民党各種団体協議会懇談会に木原理事長が出席した。
- ・平成28年 3月13日（日）自民党第83 回定期党大会に木原理事長と事務局が出席した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

平成28年1月22日（金）如水会館において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会が開催された。

当日の出席者は、生命保険協会から、窪野副会長、若狭副会長、森理事・事務局長、公益財団法人生命保険文化センターから、鈴木代表理事、長岡理事・事務局長、全国生命保険労働組合連合会から、浜田中央執行委員長、日本生命から、藤本執行役員調査部長、藤正営業教育部部長、菊池営業教育部営業教育グループ調査役、明治安田から、福井調査部長、小野営業教育グループマネージャー、住友生命から、松本調査広報部長、松山教育部長、第一生命から、岡本調査部長、谷生涯設計教育部部長、JAIFA側は、木原理事長はじめ、理事、監事、専務理事、ブロック長、事務局長が出席した。

4. 管理部門 組織の現状

平成27年度末の会員数は34,890名となった。前年平成26年度末会員数34,044名に比較

すると846名の増加となった。また、増加地方協会は35協会であった。

地方協会別会員数は、別表（52～53ページ添付）資料の通りである。

会員増加35協会

札幌・函館・苫小牧・旭川・釧路・山形県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・
埼玉県・東京・神奈川県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・滋賀県・
京都府・大阪・兵庫県・和歌山県・島根県・広島・山口県・徳島県・福岡・長崎県・
熊本県・大分県・宮崎県・沖縄県

諸会議の開催

① 理事会

第1回 平成27年度4月17日（金）午後2時～4時30分 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 第1号議案 平成26年度事業報告承認の件 第2号議案 平成26年度決算承認の件 第3号議案 規定改正の件 第4号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項：第1号議案 平成26年度決算承認の件 監査報告 第2号議案 理事選任の件 第3号議案 監事選任の件、報告事項：1. 平成26年度事業報告の件 2. 平成27年度事業計画報告の件 3. 平成27年度予算報告の件 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・専務理事、2. 平成26年度監査報告について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金、ハートフルファンデーション、4. 年次大会の開催について 5. その他

第2回 平成27年7月3日（金）午後3時～5時 メットライフ生命7F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成27年度事業推進について教育委員会企画広報委員会 企画部会 企画広報委員会 広報部会社会奉仕委員会組織強化委員会 組織部会組織強化委員会 財務部会組織強化委員会 金融業界調査部会組織強化委員会 総務部会 2. ハートフルファンデーションについて 3. 理事会の開催予定について Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、内部監査 2. NAIFA年次大会 3. その他

第3回 平成27年9月3日（木）午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成27年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会 企画部会企画広報委員会 広報部会社会奉仕委員会組織強化委員会 組織部会組織強化委員会 財務部会組織強化委員会 金融業界調査部会組織強化委員会 総務部会 ハートフルファンデーション委員会 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況 2. 内部監査について 3. NAIFA年次大会 4. 次回以降の理事会と全国会長報告会の開催予定について 5. その他

第4回 平成27年10月30日（金）午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成27年度事業推進について 2. 平成28年事業計画骨子について 教育委員会 企画広報委員会 企画部会企画広報委員会 広報部会社会奉仕委員会組織強化委員会 組織部会組織強化委員会 財務部会組織強化委員会 金融業界調査部会組織強化委員会 総務部会 3. ハートフルファンデーションについて Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 内部監査について 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況等 2. 次回理事会の開催について その他

第5回 平成28年1月22日（金）午後1時～午後3時半 如水会館 2Fペガサス
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成27年度事業推進について 2. 平成28年事業計画骨子につ

いて 教育委員会 企画広報委員会 企画部会企画広報委員会 広報部会社会奉仕委員会組織強化委員会 組織部会組織強化委員会 財務部会組織強化委員会 金融業界調査部会組織強化委員会 総務部会 ハートフルファンデーションについて 3. 平成28年度予算原案について 4. J A I F A年次統一セミナーについて 2016福島大会、2017年以降の大会開催決定について 5. 神奈川県協会支部運営規程細則について 6. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況等 2. 内閣府立入検査について 3. 内部監査について 4. その他

理事会（決議の省略による）平成27年 5月22日

1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容 第1号議案 「地位確認仮処分命令申立」の和解承認について

理事会（決議の省略による）平成28年 3月24日

1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容 第1号議案 平成28年度予算案書の最終承認について 第2号議案 平成28年度事業計画案のテーマ承認について

②委員会

教育委員会

第1回【教育委員会・編集会議】平成27年 8月28日（金）午後2時～午後3時00分 J A I F A本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業進捗について 2. 平成28年度広報誌『Present』の編集制作について 3. その他

編集会議 15:00～17:00

- 議 題 1. 平成27年度『Present』の誌面内容について 2. 平成28年度広報誌『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育委員会・編集会議】平成27年11月26日（木）午後2時～午後3時 J A I F A本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業進捗について 2. 平成28年度事業計画(案)について 3. 平成28年度広報誌『Present』制作について 4. その他

編集会議 15:00～17:00

- 議 題 1. 平成28年度広報誌『Present』の編集内容について 2. その他

企画広報委員会 企画部会

第1回 平成27年7月29日（水）午前10時00分～ 於：ソニー生命郡山支社 研修室

- 議 事 1. 平成27年度事業進捗について 2. 2015 J A I F A年次大会 in 金沢について 4. 2016年 J A I F A年次大会（福島県開催）について 5. その他

【2015 J A I F A年次大会実行委員会】

第1回 平成27年 7月29日（水）午後2時～午後8時 ソニー生命郡山支社研修室

- 議 事 1. 2015 J A I F A年次大会報告 2. 2016 J A I F A年次大会について 3. その他

第2回 平成27年10月16日（金）午後2時～午後6時 ソニー生命郡山支社研修室

- 議 事 1. 2016 J A I F A年次大会について 2. その他

第3回 平成27年 2月 5日（金）午後2時～午後6時 郡山商工会議所会議室

- 議 事 1. 2016 J A I F A年次大会について 2. その他

企画広報委員会 広報部会

第1回 平成27年10月14日(水) 午後2時30分～午後5時 JAIFA本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業推進状況について 2. 平成28年度事業計画骨子について
3. パンフレット「結い」変改について 4. JAIFA紹介DVDについて 5. その他

社会奉仕委員会

第1回 平成27年10月22日(木) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業進捗状況について 2. 平成28年度事業計画原案骨子について 3. その他

第2回 平成28年 3月 4日(木) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業進捗状況について 2. 平成28年度事業計画原案骨子について 3. 社会貢献顕彰の選定について 4. その他

組織強化委員会 組織部会

第1回 平成27年 9月 11日(金) 午後2時30分～午後5時 JAIFA本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業推進と進捗状況について・会員増強について 2. 平成28年度事業計画骨子について 3. その他

第2回 平成28年 1月21日(木) 午後2時30分～午後5時 JAIFA本部会議室

- 議 事 1. 平成27年度事業推進と進捗状況について・会員増強について・「こらんしょ! JAIFA40,000人キャンペーン」について 2. 平成28年度事業計画骨子について 3. その他

組織強化委員会 総務部会

第1回 平成28年 2月 22日(月) 午後1時30分～午後4時30分 JAIFA本部会議室

- 議 事 1. 総務部会事業の取組みについて 2. 内閣府立入検査と今後の対応について
3. 内部監査について 4. その他

② 全国会長会議

第1回 平成27年10月30日(金) 15:30～18:00 全国会長報告会、JAIFA
フォーラム 19:00～21:20 ナイトミーティング

- 議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と平成28年度事業計画骨子
教育委員会、企画広報委員会 企画部会・広報部会、社会奉仕委員会、組織強化委員会 組織部会・財務部会・金融業界調査部会・総務部会 ②JAIFAの組織の
現況等について

平成27年10月 31日(土) 9:00～12:00 全国会長会議、ブロック会議
メットライフ生命 6階 大会議室

1. JAIFAフォーラム報告 8グループからの代表 2. ブロック会議、北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック
会議報告

③ ブロック長会議

第1回 平成27年10月30日(金) 13:00~15:00 JAIFA本部 会議室

議 題 1. 会員増強「こらんしょ!40,000人キャンペーン」について 2.2016年福島年次大会動員について 3.2016年以降の年次大会開催地について 4.その他

第2回 平成28年1月22日(金) 午後1時30分~午後3時30分 如水会館 2階 蘭

議 題 1. 組織強化について 全国会長報告会を受けて ①「こらんしょ!40,000人キャンペーン」の進捗について ②2016JAIFA年次統一セミナー(福島)の動員について2.ブロック事業活動について 3.その他

第3回 平成28年 3月24日(木) 13:00~17:00 JAIFA本部 会議室

議 題 1. 新年度(平成28年)を前にした事業への取組み ①会議開催趣旨 ②内閣府立入検査の結果と指導 ③総務部会の開催(対策検討) ④具体的事例と課題(公益と共益)と今後の方針 ⑤質疑と意見交換 ⑥地方協会へのフィードバック ⑦内部監査について ⑧その他

④ブロック会議

<北海道ブロック>

平成27年10月 2日(金) 函館国際ホテル

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

平成27年10月 3日(土) 山形国際ホテル 会議室

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

<関東甲信越ブロック>

平成27年7月 24日(金) ウエスト・ワンビル7F 貸会議室

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

<首都圏ブロック>

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

平成27年11月13日(金) JAIFA本部会議室

平成27年12月22日(火) JAIFA本部会議室

平成28年 3月 1日(火) 東京協会会議室

<東海北陸ブロック>

平成27年 5月28日(木) 八兆屋駅の蔵金沢店(金沢年次統一セミナー時)

平成27年10月29日(木) メットライフ生命6階会議室

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

平成28年 3月11日(金) 第一生命金山ビル10階B会議室

<近畿ブロック>

平成27年 9月30日(水) ソニー生命大阪支社

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

平成28年 1月26日(火) ソニー生命大阪支社

平成28年 2月12日(金) ソニー生命大阪支社

<中国ブロック>

平成27年10月31日(土) メットライフ生命6階会議室

平成27年10月31日（土） 菜な 日本橋コレド室町店
＜四国ブロック＞

平成27年10月31日（土） メットライフ生命6階会議室

平成28年 3月 3日（木） ホテルリブマックス伊予三島

＜九州ブロック＞

平成27年10月31日（土） メットライフ生命6階会議室

※平成27年10月31日（土）のブロック会議は、全国会長会議と同時に、全ブロックが一堂に会して一斉に開催された。

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

平成27年度は、「規程遵守」「個人情報」「愛のドリーム募金」の各項目での内部監査を実施する予定であったが、労働基準監督署（8月）及び内閣府の立入検査（11月）などが相次ぎ、これら指導から地方協会の実態調査を優先して行う事に変更して臨んだ。

- 内部監査
- 1 地方協会役員交代の伴う引継に関する調査
 - 2 地方協会における職員の雇用状況調査
 - 3 地方協会の内部監査 平成27年3月10日 東京

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる平成27年度末の専従職員数は、事務局長以下9名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。